

令和3年度(2021年度)

管理事業名	男女共同参画事業				総合計画の 体系		大綱 1 政策 1 施策 3	人権・市民自治 平和と人権を尊重するまちづくり 男女共同参画の推進		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	23	男女共同参画費
部局名	市民部	予算執行所属		人権政策室、男女共同参画センター						
予算大事業名 男女共同参画事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)ダブルリボンプロジェクト基金積立金 男女共同参画事業								
事業の目的と概要										
【目的】 男女共同参画に関する意識改革を図り、性別に関わらず対等な立場で働き暮らすことができる環境を整えるため、啓発等の取組みを行います。 また、DVなどの暴力に悩む市民への相談などを行うとともに、DV防止に向けた啓発などの取組みを行います。										
【概要】 ・男女共同参画事業(すいた男女共同参画プラン策定及び年次報告等進捗管理、市民や市職員に対する意識啓発等に関すること) ・DV防止対策事業(配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護、DV相談に関すること、Wリボンプロジェクトに関すること) ・男女共同参画センター管理事業(施設の維持管理に関すること) ・男女共同参画センター主催事業(主催講座や講演会の開催等に関すること、一時保育の実施に関すること) ・男女共同参画センター啓発事業(男女共同参画推進に関する図書や資料の収集と提供、課題についての調査研究、啓発誌ソフィアの発行に関すること) ・男女共同参画センター相談事業(電話相談・女性のための悩み相談・法律相談に関すること)										

## I 事業の成果(実績)

指 標 名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成 果 指 標 の 定 義
主催講座等参加人数	人	4,912	3,717	5,171	男女共同参画センターの主催講座等における延べ参加者数
審議会等の女性委員の割合	%	35.1	34.9	29.9	審議会等の女性委員の割合
DVに関する相談件数	件	711	981	797	DV相談件数
成果の 説明	・男女共同参画センターでは、男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進につながる講座を、延べ132回(令和元年度139回、令和2年度96回)行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった講座もありましたが、オンラインを活用することで安定した講座運営を行うことができました。前年度に比べ、開催回数にして36回、参加者についても1,454人増えました。 ・審議会等の女性委員の割合は第4次すいた男女共同参画プランにおける目標値(40～60%)には到達していないため、引き続き関係室課と連携しながら積極的な女性の選任を促します。 ・DVに関する相談件数は前年に比べて減少していますが、引き続き啓発を通して、DV被害者の支援につながるよう努めます。				

## II 財務情報

### ◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	2,695	1,751	2,137	386
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	720	720
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	1,178	839	757	△82
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	0	0	0	-
その他	1,365	920	1,385	465
経常収入 小計(a)	5,238	3,511	5,000	1,489
給与関係費	98,599	94,955	94,139	△816
物件費	34,191	34,239	36,663	2,424
維持補修費	162	7,114	1,459	△5,655
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	7,294	5,328	7,034	1,706
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	12,126	12,123	12,123	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	7,246	7,066	5,795	△1,271
退職手当引当金繰入額	5,080	468	100	△368
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	164,698	161,294	157,312	△3,982
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△159,460	△157,783	△152,312	5,471
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	0	-	△0
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	0	-	△0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	△0	-	0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△159,460	△157,783	△152,312	5,471
一般財源充当額	147,777	150,920	145,597	△5,323
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△11,683	△6,863	△6,715	148

### 行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決 算 額 の 主 な 内 容
国庫支出金 (経常費用充当)	地域女性活躍推進交付金による720千円の増
物件費	公衆無線LAN導入に伴う2,424千円の増
維持補修費	修繕費の減少による5,655千円の減

### ◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	5,238	3,511	5,000	1,489
行政サービス活動支出	153,154	155,064	151,251	△3,814
行政サービス活動収支差額	△147,916	△151,553	△146,251	5,302
投資活動収入	2,000	2,134	1,956	△178
投資活動支出	1,861	1,501	1,302	△199
投資活動収支差額	139	633	654	21
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△147,777	△150,920	△145,597	5,323
一般財源充当額	147,777	150,920	145,597	△5,323
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

### キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(投資活動収入) ダブルリボンプロジェクト基金から1,956千円取崩し、DV防止対策事業の一部に充当しました。
--------------	--

### ◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指 標 名	年度	実績	単位あたりコスト	分 析 内 容 ( 前 年 度 と の 増 減 理 由 )
市民1人あたりのコスト	令和元年度	373,978 人	440 円	市民1人あたり年間415円のコストがかかっています。前年度より13円減少しました。(各年度の3月31日現在の吹田市人口で算出しています。)
	令和2年度	376,944 人	428 円	
	令和3年度	378,781 人	415 円	

## ◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	7,066	5,795	△1,271
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	7,066	5,795	△1,271
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	264,993	252,875	△12,118	その他流動負債	-	-	-
土地	71,593	71,593	-	固定負債	62,785	57,994	△4,791
建物・工作物	193,400	181,282	△12,118	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	62,785	57,994	△4,791
無形固定資産	517	512	△5	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	69,851	63,789	△6,062
建物・工作物	-	-	-	純資産	208,862	202,147	△6,715
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	3,000	3,000	-
重要物品	3,000	3,000	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	10,203	9,549	△654
投資その他の資産	10,203	9,549	△654	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	10,203	9,549	△654
基金	10,203	9,549	△654	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	278,713	265,936	△12,777
資産の部合計	278,713	265,936	△12,777	負債及び純資産の部合計	278,713	265,936	△12,777

## Ⅲ 財務構造分析

## ▽人にかかるコストの内訳

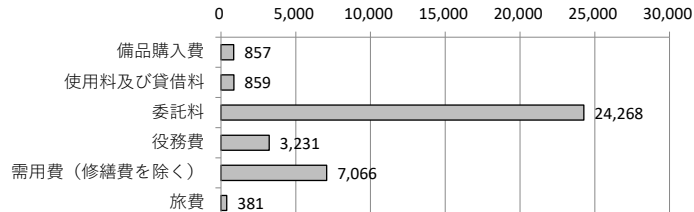
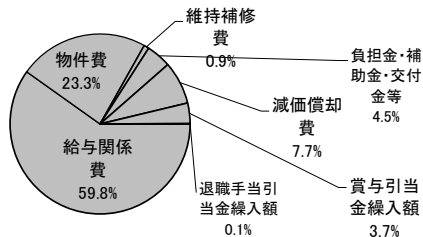
事業従事人数	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
10人	10人	1,463日	23日	
給与関係費等	77,789千円	22,051千円	193千円	合計(千円) 100,033
内、時間外勤務手当	792千円			

## 貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産 建物・工作物	男女共同参画センターの建物減価償却による 12,118千円の減
基金	ダブルリボンプロジェクト基金からDV防止対策事業の一部に充当するため1,956千円の取崩しによる減、指定寄附金、Wリボンバッジ利益分、預金利子、前年度繰戻分の積立による1,302千円の増

## ▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



## ▽施設の概況

施設の名称	吹田市立男女共同参画センター
取得年月日	昭和62年(1987年)5月1日
建物・工作物の取得価額	569,814 千円
建物・工作物の減価償却累計額	388,532 千円
利用料金収入	2,137 千円

## ▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.0	1.2	0.3	△0.9
施設老朽化比率		63.9	66.1	68.2	2.1
受益者負担比率		1.6	1.1	1.4	0.3
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		95.3	96.4	95.4	△1.0
経常費用対公共資産比率		28.9	28.3	27.6	△0.7

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

## Ⅳ 総括

## ▽分析結果の説明

- ・経常収入の5,000千円の内訳は、2,137千円が男女共同参画センター使用料、757千円がダブルリボンプロジェクト基金指定寄附金です。
- ・経常経費の主なものにつきましては、給与関係費94,139千円(59.8%)、物件費36,663千円(23.3%)、減価償却費12,123千円(7.7%)となっています。

## ▽分析結果を踏まえた事業の課題

- ・ダブルリボンプロジェクト基金は、Wリボンバッジ等の売上金の一部のほか、企業や市民からの寄附金等を積立て、DV防止や児童虐待防止のための事業に活用しています。主に、DV被害者への直接支援としてDV相談、また、若年層への啓発としてデートDV予防啓発出前授業等に活用しました。
- ・審議会等の女性委員の割合については、第4次すいた男女共同参画プランにおける目標値(40~60%)に到達していないため、関係室課と連携しながら、引き続き積極的な女性の選任を促します。
- ・男女共同参画センターは、男女共同参画推進の拠点施設として、また、市民の活動や交流の場として、大勢の方に利用していただけるような貸室業務や多彩な講座、相談事業等を今後も実施していく必要があります。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため54日間臨時休館となりましたが、女性のための相談業務やオンライン講座を継続して行いました。今後も多くの市民に利用していただけるよう手法や内容を工夫しながら取組んでいきます。施設の経年劣化に伴う維持管理については、計画的な修繕や設備の更新を行うなど適切な維持管理に努めます。
- ・令和3年度は、地域女性活躍推進交付金を活用し、女性電話相談の相談日と相談時間の拡充を行い、コロナ禍で困難や不安を抱える女性への支援の充実を図りました。